

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第44週の発生動向

□ 全数報告の感染症（44 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。4 類感染症：日本紅斑熱 3 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、水痘(入院例)1 例、梅毒 9 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、体重減少、盗汗	
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし	
		都城	70歳代	男	疑似症患者	咳、痰、息切れ	
		日南	20歳代	女	肺結核	なし	
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	90歳代	女	—	発熱、結石性腎盂腎炎、 O115(VT1)	
		高鍋	10歳代	女	—	なし、O血清群不明(VT1)	
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	
		日南	80歳代	男	—	発熱、刺し口、肝機能異常、 血小板減少	
		小林	80歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常	
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	軟部組織感染	
	劇症型 溶血性レンサ球菌感染症	延岡	70歳代	男	—	ショック、腎不全、軟部組織炎	
	水痘(入院例)	宮崎市	70歳代	女	検査診断例	なし	
	梅毒		宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
				20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
				20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
				20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
				30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
				40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、 鼠径部リンパ節腫脹
50歳代			男	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹		
延岡	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,437 人(定点当たり 33.1)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 101 人(1.7)で、前週比 58%と減少した。延岡(4.7)、高千穂(3.5)、中央(2.5)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

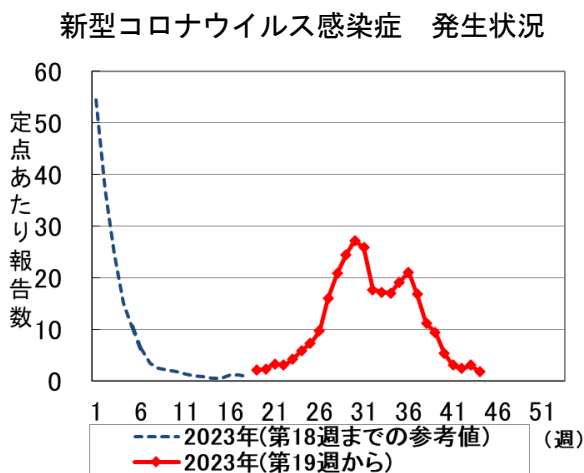
【インフルエンザ】

報告数は735人(12.7)で、前週比106%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.32)の約39.0倍であった。小林(20.5)、高千穂(18.0)、宮崎市(16.9)、延岡(16.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

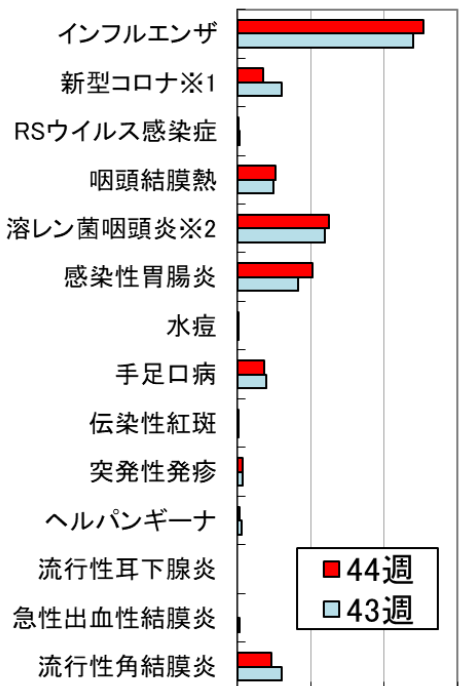
報告数は225人(6.3)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.5)の約4.2倍であった。延岡(10.3)、都城(9.3)、日南(8.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

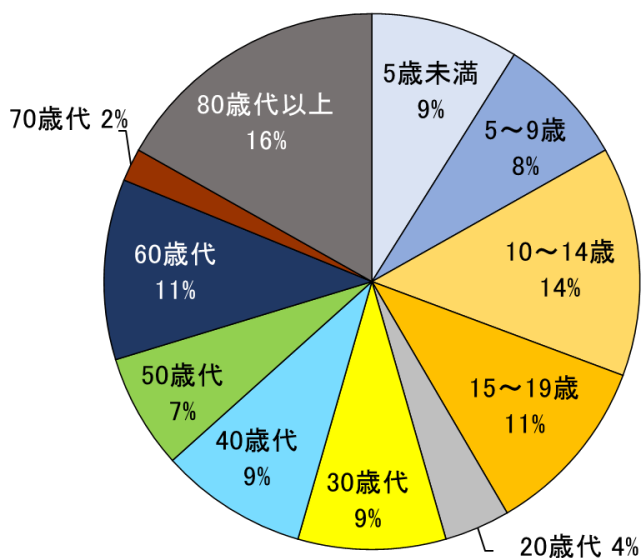
《前週との比較》



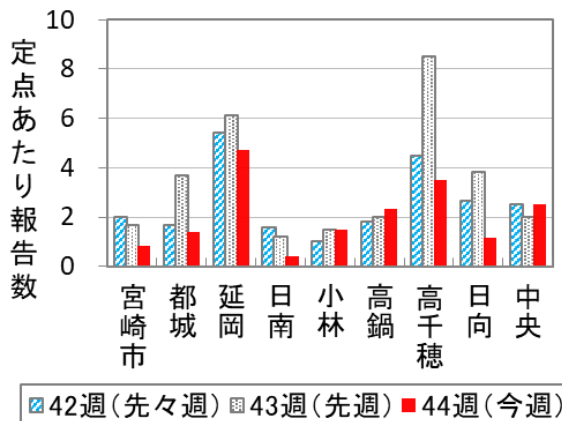
0 5 10 15
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

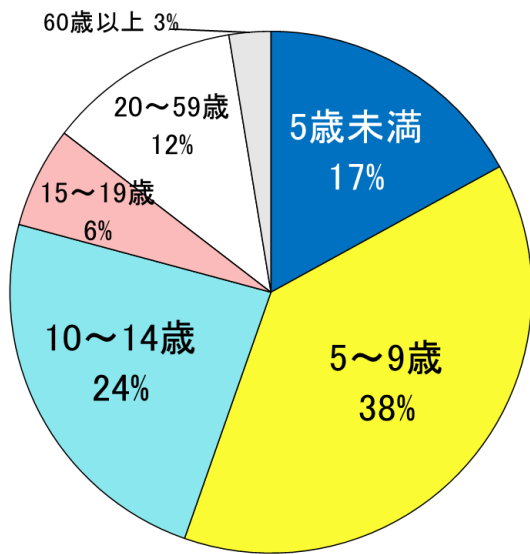
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第44週)



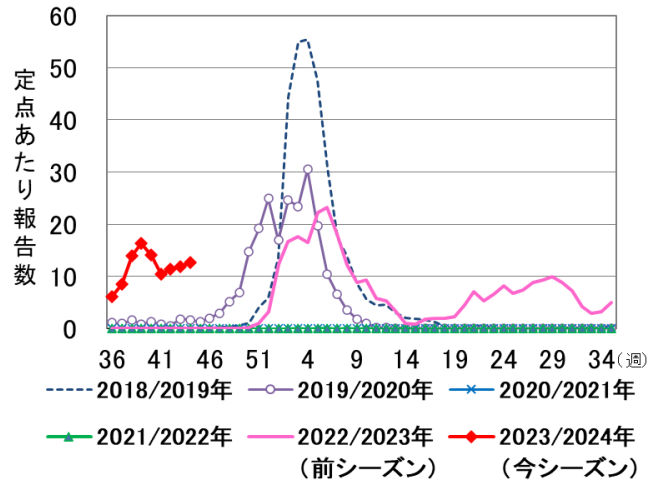
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



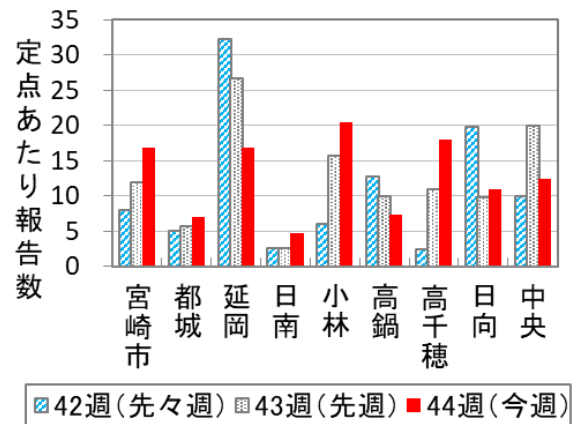
インフルエンザ年齢群別グラフ(第44週)



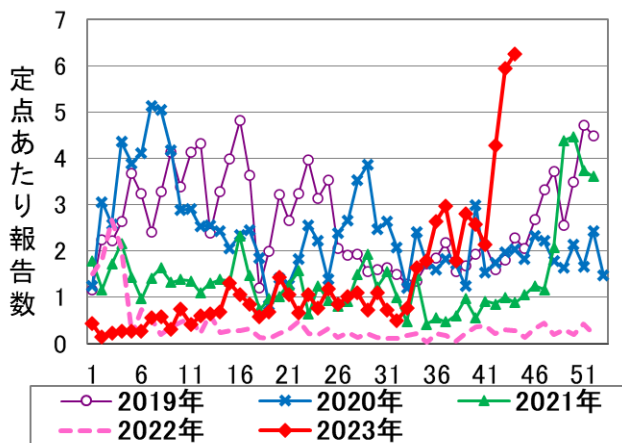
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

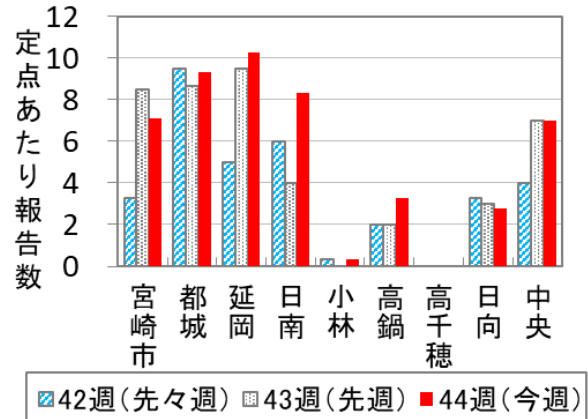


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(16.9)、咽頭結膜熱(4.9)
都城	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.3)
延岡	インフルエンザ(16.9)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.3)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
小林	インフルエンザ(20.5)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(18.0)
日向	インフルエンザ(11.0)
中央	インフルエンザ(12.5)、咽頭結膜熱(6.0)

- ※流行警報レベル開始基準値※
 ・咽頭結膜熱(3)
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ※流行注意報レベル基準値※
 ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年11月6日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O26:H11)	0～4歳	男	2023.10.19	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.10.30
EPEC(O26:H11)	30歳代	女	2023.10.25	無症状	便	2023.11.06

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus B5	0～4歳	男	2023.08.29	髄膜炎、38.6℃、上気道炎	便、髄液、 咽頭ぬぐい液	2023.10.26
Influenza virus AH1pdm09	10歳代	女	2023.09.22	A型インフルエンザ、39.3℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2023.11.01
Influenza virus AH1pdm09	40歳代	男	2023.09.21	A型インフルエンザ、37.5℃、頭痛、 倦怠感、鼻水、咳	鼻咽頭ぬぐい液	2023.11.01
Influenza virus AH1pdm09	5～9歳	男	2023.09.25	A型インフルエンザ(今シーズン2回目)、 38.8℃	咽頭ぬぐい液	2023.11.01
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.09.26	A型インフルエンザ、40.1℃	咽頭ぬぐい液	2023.11.01

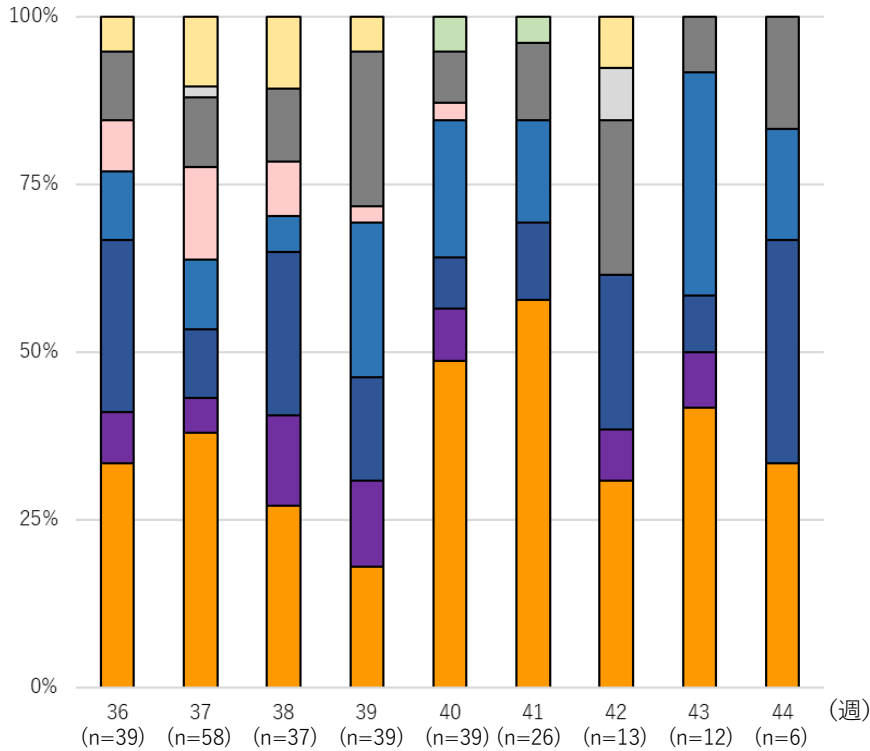
○髄膜炎の症状を呈する乳児1名からコクサッキーウイルス B5 型が分離された。小児のウイルス性髄膜炎を起こす原因ウイルスはエンテロウイルスが8割以上を占め、初夏から秋にかけて増加する傾向にある。

○インフルエンザと診断された患者1名からインフルエンザウイルス AH3、3名からインフルエンザウイルス AH1pdm09 が分離された。2023年11月6日現在における当所でのインフルエンザウイルス(2023/2024 シーズン)分離検出件数は、インフルエンザウイルス AH3 が1件、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が4件となっている。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.5系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.75系統



XBB 系統は第 44 週で 100%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 33%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は B. J. 1（BA. 2. 10. 1 系統）／B. M. 1. 1. 1（BA. 2. 75. 3 系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2023 年第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	234 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	101 例		
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	5 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	7 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	23 例	ブルセラ症	1 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	40 例	レプトスピラ症	3 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	45 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	10 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	37 例	水痘(入院例)	5 例	梅毒	188 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	15 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 97,292 人(19.7)で前週比 120%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.21)の約 92.5 倍であった。愛媛県(51.5)、山梨県(29.6)、千葉県(29.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 7,635 人(2.4)で前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.20)の約 12.0 倍であった。福岡県(6.9)、沖縄県(5.8)、佐賀県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第44週(10月30日～11月05日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	693	735	270	70	118	24	82	44	36	66	25
	定点当り	11.95	12.67	16.88	7.00	16.86	4.80	20.50	7.33	18.00	11.00	12.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	175	101	13	14	33	2	6	14	7	7	5
	定点当り	3.02	1.74	0.81	1.40	4.71	0.40	1.50	2.33	3.50	1.17	2.50
RSウイルス感染症	報告数	5	1				1					
	定点当り	0.14	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	89	93	49	16	11		2	5		4	6
	定点当り	2.47	2.58	4.90	2.67	2.75	0.00	0.67	1.25	0.00	1.00	6.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	214	225	71	56	41	25	1	13		11	7
	定点当り	5.94	6.25	7.10	9.33	10.25	8.33	0.33	3.25	0.00	2.75	7.00
感染性胃腸炎	報告数	148	183	48	38	3	37	19	10	1	19	8
	定点当り	4.11	5.08	4.80	6.33	0.75	12.33	6.33	2.50	1.00	4.75	8.00
水痘	報告数	2	1						1			
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	72	65	30	14	4	8	1	2		4	2
	定点当り	2.00	1.81	3.00	2.33	1.00	2.67	0.33	0.50	0.00	1.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	12	2	4	2	1	2	1			
	定点当り	0.39	0.33	0.20	0.67	0.50	0.33	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	6	3	1		1		1			
	定点当り	0.31	0.17	0.30	0.17	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	14	11	3							
	定点当り	3.00	2.33	3.67	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～44週保健所受理分)

2類感染症	結核	96例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例(2)	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
4類感染症	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例(1)	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12例	水痘(入院例)	4例(1)
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	156例(9)
			百日咳	5例

()内は今週届出分、再掲